

この説明書は、ご使用の前に必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

下痢、食あたり、腹痛を伴う下痢に
DHC 赤玉 下痢止め

<止瀉薬>

第2類医薬品

DHC赤玉下痢止めは、食あたりや腹痛を伴う下痢の症状を抑える小粒の丸剤です。5才から服用できるため、ご家庭の常備薬としてお子様から大人まで、不意なお腹の不調にご使用いただけます。携帯に便利な個包装入り。

⚠ 使用上の注意

☒ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起りやすくなります。)

- 1.本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。
胃腸鎮痛鎮痙薬、コートエキスを含有する他の胃腸薬、乗物酔い薬
- 2.服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(目のかすみ、異常なまぶしさ等の症状があらわれることがあります。)
- 3.授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。
(母乳に移行して乳児の脈が速くなることがあります。)

相談すること

- 1.次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - (1)医師の治療を受けている人。
 - (2)発熱を伴う下痢のある人、血便のある人又は粘液便の続く人。
 - (3)急性の激しい下痢又は腹痛・腹部膨満・はきけ等の症状を伴う下痢のある人。
(本剤で無理に下痢をとめるとかえって病気を悪化させることができます。)
 - (4)妊娠又は妊娠していると思われる人。
 - (5)高齢者。
 - (6)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (7)次の症状のある人。
排尿困難
 - (8)次の診断を受けた人。
心臓病、緑内障、甲状腺機能障害

- 2.服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
精神神経系	頭痛
泌尿器	排尿困難
その他	顔のほてり、異常なまぶしさ

- 3.服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
口のかわき、便秘、下痢、目のかすみ

- 4.5~6日間服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

その他の注意

母乳が出にくくなることがあります。

裏面も必ずお読みください。→

■ 効能・効果

下痢、消化不良による下痢、食あたり、はき下し、水あたり、くだり腹、軟便、腹痛を伴う下痢

■ 用法・用量

年令	1回量
成人(15才以上)	30丸
11才以上15才未満	20丸
8才以上11才未満	15丸
5才以上8才未満	10丸
5才未満	服用しないこと

いずれも1日3回を限度とし、服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

【用法・用量に関する注意】

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

■ 成分・分量 1日量(90丸:3420mg)中

成分	分量	はたらき
タンニン酸ベルベリン	300mg	腸内の病原菌を殺菌し、收敛作用により腸粘膜を保護します。
ゲンノショウコ末	1500mg	収斂作用により腸粘膜を保護し、下痢をとめます。
ロートエキス5倍散 (ロートエキス30mgに相当する。)	150mg	鎮痛・鎮痙作用により、腹痛を軽減します。

添加物として、デヒドロ酢酸Na、アルファー-ヒトウモロコシデンプン、カルメロースCa、沈降炭酸Ca、パレイショデンプン、タルク、酸化チタン、アラビアゴム末、ヒドロキシプロピルセルロース、マクロゴール6000、色素(赤色102号、黄色5号)を含有します。本剤は赤色の丸剤です。

■ 保管及び取扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 小児の手の届かない所に保管してください。
- 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

医薬品
相談室

tel.044-233-2029
受付時間 9:00~17:00(日・祝日のぞく)

DHC 製造販売元
株式会社ディーエイチシー
東京都港区南麻布2-7-1
0120-333-906 www.dhc.co.jp